

高知大学医学部医学科同窓会会報

やまもも

高知大学医学部医学科同窓会
会長 廣瀬 大祐
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
TEL:088(866)0034
FAX:088(866)0065
dosokaij@kochi-u.ac.jp
<http://www.kochi-ms.jp>

第35号

高知大学医学部医学科同窓会総会報告

この1年もコロナ禍で過ぎようとしておりますが、このような中、令和4年度総会を8月6日(土) ホテル日航高知旭ロイヤルの広い会場で規模を大幅に縮小し開催をいたしました。当日のご参加を検討していただいていた先生には大変ご迷惑をおかけしました。

総会では、まず令和4年7月末日付で廣瀬同窓会会長の任期が満了となるので次期同窓会会長選出について審議を行いました。他に立候補者がなく続投することで了承されました。引き続き、令和3年度会計報告(次ページ参照)と令和4年度事業計画(案)に伴う予算の説明を行い、監査報告では、岡本啓一監事(1期生)、前田明彦監事(6期生)より、会計監査の結果、適正に処理されていることの報告後、異議なく承認となりました。

医学部は、来年度(2023(令和5)年度)高知大学と高知医科大学の統合20周年を迎えます。学部単独で記念行事の開催を検討していたようですが、参加人員などにおいて実施することが大変難しく医学部同窓会(医学科同窓会、看護学同窓会)との協働で実施できないかと依頼があり、令和5年11月25日(土)にザクラウンパレス新阪急高知で開催することを検討中です。

同窓会総会は、ここ数年コロナ禍により規模を縮小して実施しております。次年度は、大同窓会総会として卒期の制限を撤廃し沢山の会員様が自由に参加できるようにと計画中です。詳細につきましては、会報36号(令和5年6月期発行)で改めてご連絡させていただきますので、よろしく願い申し上げます。

会報(やまもも)へのご寄稿を心よりお待ちしております。日々の診療で感じられたことや研究報告など思ったこと何でも結構です。

【送付先】 高知大学医学部医学科同窓会事務局 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
E-mail: dosokaij@kochi-u.ac.jp FAX:088-863-0065

令和3年度会計報告(令和3年8月1日～令和4年7月31日)

【収入の部】

科 目	受入見込額	受入済額	摘要
会費収入	5,750,000	5,860,000	新入生116名(うち1名は国費留学生のため徴収しない)114名/115名 及び在学生1名と卒業生2名の計117名納付並びに白衣代10,000円×1名
総会(懇親会)会費	200,000	0	コロナ禍のため懇親会は中止
保険事務代行費	370,000	344,287	保険事務代料
利息	100	34	
雑収入	0	10	不明金
今年度収入合計	6,320,100	6,204,331	
前年度からの繰越	9,738,798	9,738,798	
総 計	16,058,898	15,943,129	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	摘要	
総会実施経費	600,000	81,110	会場借上費など	
通信運搬費	500,000	561,179	会報などの送付	
印刷製本費	900,000	967,219	会報、おこうだよりの印刷製本費	
事務費・事務用品費	90,000	94,418	電話料金、FAX料金など	
人件費	960,000	960,000	事務職員給与80,000円×12ヶ月	
ホームページ更新料	40,000	30,696	ドメイン・サーバー年間対応費用	
旅費	50,000	18,000	事務職員年間駐車料金(週3日勤務者は年間36,000円の1/2金額)	
支部助成費	100,000	0	感染防止のため中止	
研究補助費	500,000	300,000	全国学会100,000円×1件,中四国地区学会50,000円×2件,KMS-RM(100,000円)	
慶弔費	100,000	100,000	慶弔費(1件)	
会議費	130,000	45,003	理事会開催経費及び活動費	
コロナ対策経費	500,000	500,000	アイケアグラス289個	
教育設備の更新費	1,000,000	1,000,000	医学部教育設備に寄付(3/5年目)	
研修医の支援	210,000	107,908	モーニングセミナー10回分	
学 生 支 援 経 費	卒業試験対応への支援	1,060,000	1,078,000	卒試問題収集システム機能追加費用
	国家試験対策経費	600,000	600,000	既卒生模試試験並びに特別補講
	幡多地域医療道場に伴う支援	50,000	0	感染防止のため中止
	地域枠学生SEEDへの支援	100,000	0	感染防止のため中止
	白衣授与式への支援	1,000,000	972,906	白衣118枚分(本年度より4年生)
	よさこい祭り(醫)への支援	50,000	0	コロナ禍のため参加辞退
	南風祭への支援	100,000	0	感染防止のため中止
	卒業記念品	630,000	649,000	USBメモリー×500個(@1,180円×500個×消費税)令和6年度分まで
学生支援経費合計	3,590,000	3,299,906		
支出の部(小計)	9,270,000	8,065,439		
予備費	788,908	0		
支出の部(合計)	10,058,908	8,065,439		
運用資金次年度への繰越金額	6,000,000	7,877,690		
計	16,058,908	15,943,129		

《会長挨拶》

令和5年11月25日(土) 高知大学医学部「大同窓会」開催

高知大学医学部医学科同窓会

会長 廣瀬 大祐 平成元年(第6期卒)

高知大学は、2024(令和6)年11月に創立75周年を迎え、2022(令和4)年5月から2024(令和6)年11月までをアニバーサリー期間※と位置づけ、「高知大学創立75周年記念事業」を実施しております。その中で医学部は来年度2023(令和5)年度、高知大学と高知医科大学の統合20周年を迎えます。アニバーサリー期間の意義は先人の功績を尊ぶとともに未来へ展望を持ち、在学生・卒業生・同窓会・現旧教職員や地域の方々と絆を育む大きな機会と考えます。

コロナ禍で同窓会総会の際の懇親会が開かれず、同窓生の集まりが希薄になっていました。この機会に、「高知大学・高知医科大学統合20周年記念事業」とコラボすることにより高知大学医学部「大同窓会臨時総会ならびに懇親会」を開催したいと計画を行なっております。

例年行われる8月初めの同窓会総会は決算、予算作成のため行いますが、懇親会は行いません。その代わりに2023(令和5)年11月25日(土)に統合記念事業と同日に臨時総会及び懇親会を計画しております。

高知医科大学、高知大学医学部の歴史で考えますと、1978年4月に高知医科大学1期生が入学、同年5月に開学式典が挙行されており、1998年10月には開学20周年の行事も行われていることから、2028年(令和10年)に開学50周年を迎えます。

2023年・2028年と5年おきに大同窓会を開催できたらとも考えております。

ご参加いただけることが一番の協力となりますので、学年同窓会を計画している各学年幹事の先生におかれましては、「大同窓会」の際に開催していただけるようご協力お願いします。クラブ単位、教室単位でも受け付けておりますので、概算で構いませんので2023年7月末までに同窓会事務局までお知らせいただけるようお願い申し上げます。

※令和4(2022)年4月から令和6(2024)年10月まで高知大学創立75周年記念アニバーサリー期間。2022年は旧制高知高等学校開設100周年、2023年は高知大学と高知医科大学の統合20周年、2024年には高知大学創立75周年を迎える。



左より 渡辺先生(8期)、廣瀬先生(6期)、牛田先生(8期)、中澤先生(8期) 名古屋にて

《支援経費報告》

第 74 回 中国四国産婦人科学会学術集会を主催して

高知大学医学部産科婦人科学講座

教授 前田 長正（高知医科大学 2 期生）

去る 2022 年 9 月 17 日、18 日にザ クラウンパレス新阪急高知ホテルにおいて、第 74 回中国四国産婦人科学会を開催させていただきました。その際は高知大学医学部同窓会（同窓会）より多大なご支援・ご寄付を賜りまして誠に有難うございました。心より御礼を申し上げます。

本会は中国四国の 10 大学持ち回りで行われている学会で、2 日間で 300 人程が参加する学会です。この 2 年間は新型コロナ感染拡大により一昨年は中止、昨年は Web 開催となっておりましたが、この度第 7 波の感染者数がピークアウトしつつあると鑑み、3 年ぶりの現地開催とさせていただきました。

久しぶりの現地開催でしたが、登壇しての発表や質疑応答、特別講演やランチョンセミナーなど現地開催ならではの醍醐味を味わっていただいたと思います。

今回の学会の特別講演や基調講演、教育講演などは、高知大学に縁のある先生方のお力をお借りしました。まずは午前中のセミナーは、西山謹吾先生（高知医大 1 期生、高知大学災害・救急医療学教授）に「災害時の産婦人科医療を考えよう！」をお願いし、大変好評で参加者のアンケートでも 97.5 点と極めて高い評価をいただきました。また、藤枝幹也先生（同 1 期生、高知大学小児思春期医学教授）には、「脳性麻痺に対する臍帯血細胞輸血」について、小林道也先生（同 1 期生、高知大学医療学講座医療管理学教授）には「がんプロ 15 年高知大学の歩み “Glocal Medical Staff” の育成」について、柴原浩章先生（同 1 期生、兵庫医科大学産婦人科主任教授）「実践卵管学 ～卵管性不妊症には ART か、生殖内視鏡か～」について、澤井英明先生（同 1 期生、兵庫医科大学遺伝子医療部教授）「新しい NIPT 認証制度とこれからの出生前診断」について、杉本健樹先生（同 2 期生、高知大学乳腺外科教授）「遺伝性腫瘍診療の基本と心療連携 —HBOC を中心に—」について、また 1 期生 2 期生と同時期高知大学で同じ釜の飯を食べた若槻明彦先生（愛知医大産婦人科教授、副医学部長）にも「リスク低減を目的とした閉経後ホルモン補充療法 —エストロゲンと黄体ホルモンの選択—」についてご講演いただきました。その他にも高知大学産婦人科と縁の深い自治医科大学附属さいたま医療センター教授今野 良先生には「なぜ日本は HPV ワクチン接種を再開するのに 8 年以上を費やしたのか？ —HPV ワクチンの真実とプライマリ HPV 検診の意義—」を、近畿大学安全管理部教授辰巳陽一先生には「—Google から学ぶ医療安全— 周産期医療チームにおける心理的安全性」のご講演を頂きました。いずれも興味深い内容ばかりで、ご講演いただきました諸先生に心より深く御礼申し上げます。できれば会長招宴を開いて先生方に同窓会のように楽しんでもらいたかったのですが、時期が時期だけに飲食は困難で誠に残念でし

た。一般演題はコロナ禍にもかかわらず92題と多く、活発なご討議をいただきました。若い先生にとっては初めての登壇の経験でもあり心地よい緊張感のもとでご発表いただきました。参加者は2日間で233人となりました。コロナと台風の状況でしたが、予想より多くの参加者においていただき一安心しています。コロナと台風のために高知に来られなかった先生も録音と録画を現地で流すことにより出席とみなすことを事前に日本産科婦人科学会に確認をとっていただき、ご迷惑をおかけすることなくスムーズにいったと考えています。



初日は情報交換会ができなかったため、盛り上がりにかけるかと心配しましたが、学会初日はみんな夜の高知市内へと早々に出かけられ、カツオのタタキを堪能された様子で翌日は二日酔いの先生も見られました。大型台風14号が北上していましたが、進行が緩やかであり、初日は風雨も大したことがなかったのが幸いです。しかし2日目は台風が本格的に北上を始め、瀬戸大橋や高知自動車道の通行止めも危惧され、午後には多くの参加者が帰路に着かれました。しかし中四国が本格的な暴風雨圏に入ったのは夜半でしたので、殆どの先生が無事に帰られたとお聞きし安堵しています。

帰り際高知の銘菓をお土産に持って帰ってもらおうとの発案でお配りいたしました。大変好評でみんな手提げ袋を持って帰られました。情報交換会を催すことが出来ませんでした。このお土産効果はhospitalityとして非常に良かったと一同感じております。

二日間でしたが、お陰様で貴重な経験をさせていただきました。来たる11月、来年の1月にも全国学会が控えておりますが、まずはオープニングとして良い学会が運営できたのではないかと考えています。

今回、無事開催できましたのは、同窓会、同門会、関連病院、医局員、教室員の皆様の御援助と深謝申し上げます。

末筆になりましたが、皆様のご健勝とますますのご発展を祈念して御礼とさせていただきます。誠に有難うございました。

《支援経費報告》

第 35 回 中国・四国ストーマリハビリテーション研究会

医療学講座医療管理学分野

岡本 健（高知医科大学 9 期生）

2022 年 6 月 18 日（土）に高知城ホールで第 35 回中国・四国ストーマリハビリテーション研究会を主催させていただきました。開催に当たって高知大学医学部同窓会（同窓会）からは多大なご支援をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

2020 年になって COVID-19 感染が日本でも広がり、2 年経過しても収束がないままの状況であったため、本研究会は 2021 年同様のハイブリッド形式（現地参加＋ウェブ参加）で行ないました。末尾にプログラムの抜粋を載せてあります。ご参照ください。

徹底した感染対策（ソーシャルディスタンス確保、体温測定、手指消毒薬配置、アクリル板設置、発表ごとのマイク消毒、定期的換気など）と現地参加者の協力のおかげでクラスターを発生することなく、無事研究会を終えることができました。ありがとうございました。

本研究会は医師、看護師のみならずソーシャルワーカーなど多くのメディカルスタッフが参加し、発表や討論を通じて知識や技術の向上に役立っております。

人間が生きていく上で重要なもの一つに排泄が挙げられ、現在の高齢化社会において排泄ケアの重要性は増してきています。ストーマにおいては、医療従事者のストーマ造設時の周術期管理や安定期のケアなど、これまでに培ってきた経験をもとに行われています。

経験をデータ化や言語化することによって科学となり、知識や技術の伝承に貢献します。そこで本研究会のテーマを“経験を科学する”にいたしました。

テーマが悪かったのか、COVID-19 感染蔓延が影響したのかわかりませんが、発表が 10 演題と例年に比べ少なく、これに付随して参加者も現地参加 20 人、ウェブ参加 58 人と例年に比べ半分ほどでした。しかしながら、その分十分な討論の時間が取れ、活発な質疑応答が行われました。

特別講演は、患者さんのより快適な生活のために排便障害を専門に活躍されている味村俊樹先生（自治医科大学 外科学講座 消化器一般移植外科学部門 教授）と特定認定看護師として院内のみならず近隣地域の方々とも連携され、チーム医療の第一人者である平良亮介先生（倉敷医療生活協同組合 総合病院水島協同病院 看護師長）の 2 名にお願いしました。

味村先生からは慢性便秘診療ガイドライン作成に関わった経験から、慢性便秘症の診断・治療・ケアについてわかりやすくご講演いただきました。また、平良先生からは、ストーマケアを通じて様々な経験から得た物の考え方や知識をご教授いただきました。両講演とも参加者にとって有意義なものになったと思います。

また、Web での参加者に向けて現地の企業展示会場より各企業から取り扱い製品のプレゼンテーションをライブ配信し、最新の情報提供を行っていただきました。

今回、無事開催できましたのは、同窓会、高知大学医学部医療学講座およびがん治療センター

の事務員および関連病院を含めご援助いただいたすべての方々のおかげと深謝申し上げます。

末筆になりましたが、これからの皆さまのご健勝と益々のご発展を祈念してお礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。



第35回 中国・四国ストーマリハビリテーション研究会 プログラム

特別講演Ⅰ 座長：岡本 節（高知大学医学部附属病院）

オストメイトから学ぶストーマケア

講師：平良 亮介（倉敷医療生活協同組合 総合病院 水島協同病院 看護師長）

特別講演Ⅱ 座長：岡本 健（高知大学医学部医療学講座）

慢性便秘症の診断・治療・ケア —ストーマ保有者の便秘を含めて—

講師：味村 俊樹（自治医科大学 外科学講座 消化器一般移植外科学部門 教授）

一般演題Ⅰ 座長：福留 惟行（飯田市立病院） 竹内 真弓（愛媛医療センター）

I-1. 肺機能精密検査が誘因と考えられたストーマ脱出の一例

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 看護局

○片岡 薫

I-2. 排便ケアチームにおける排便ケア啓蒙の取り組み

呉市医師会病院

○藤森 正彦、中塚 博文、岡野 純子

I-3. 『高知さくらんぼの会』活動報告

高知大学医学部附属病院 看護部

○岡本 節

一般演題Ⅱ 座長：矢野 雷太（広島記念病院） 片岡 薫（高知医療センター）

Ⅱ-1. 手術部位感染（SSI）によりストーマ管理困難となった1事例

川崎医科大学総合医療センター

○大東 摩保、石橋 直大

Ⅱ-2. 難治性腹壁癒痕ヘルニア術後に発生した横行結腸瘻の1例

社会医療法人同愛会 博愛病院外科

○木村 修、竹本 大樹、山根 成之、近藤 亮、角 賢一

Ⅱ-3. 低位前方切除術後の2週間以内の一時的回腸ストーマ閉鎖に関する安全性の検討

1) 飯田市立病院、2) 高知大学医学部附属病院、3) 清和病院

○福留 惟行¹⁾、前田 広道²⁾、岡本 健²⁾、山口 祥²⁾、藤澤 和音²⁾、
志賀 舞²⁾、駄場中 研³⁾、小林 道也²⁾、並川 努²⁾、花崎 和弘²⁾

一般演題Ⅲ 座長：前田 広道（高知大学外科） 岡本 節（高知大学医学部附属病院）

Ⅲ-1. 大建中湯が奏効した直腸感覚低下による便失禁の1症例

広島記念病院 消化器外科

○矢野 雷太、小林 弘典、坂下 吉弘、石田 裕、宮本 勝也

Ⅲ-2. ストーマトラブルによる主体性の低下した患者への看護介入

～自己決定の6段階での分析～

医療法人 住友別子病院

○富永 美和、川村 弘明、村上 知美、伊藤 純子、荻山 美緒

Ⅲ-3. 電子カルテのセット展開機能を活用したストーマセルフケア教育の標準化

1) 県立広島病院 看護部、2) 県立広島病院 消化器外科

○西村 智美¹⁾、板原 典恵¹⁾、品川 彩香¹⁾、古山 美由紀¹⁾、
三口 真司²⁾、池田 聡²⁾

Ⅲ-4. 看護師用ストーマケアマニュアルの導入への試み

～専門知識、技術の習得向上にむけて～

厚生連 JA 広島総合病院

○三上 理恵、岡崎 裕美

《事務局からのお知らせ》

会費納入のお願い

同窓会会費は終身会費で5万円です。未納の方は、下記口座への納入をお願いいたします。

【郵便局からのお振込み】

口座番号:01680-2-130874 高知大学医学部医学科同窓会

【他銀行からのお振込み】

店名 : 一六九店 預金種目 : 当座

口座番号 : 0130874 高知大学医学部医学科同窓会

参考までに、令和3年度同窓会の活動実績は次のとおりとなっております。

[在学生への支援]

- ・医学部学生生活支援事業への補助(経済的に困窮している学生に対する支援金)
- ・医学科教育設備への支援
- ・医師国家試験対策経費への補助
- ・白衣の贈呈(4年生臨床実習開始時)
- ・コロナウイルス感染対策経費
- ・卒業試験対応への支援
- ・卒業記念品の贈呈など

[卒業生への支援]

- ・同窓会会報(やまもも)や「おこうだより」の送付
- ・高知県内での卒後研修への支援
- ・OBとの懇親会及び進路相談
- ・学会等主催への支援事業
- ・県外支部会への支援(感染防止のため中止) など

[高知県内での研究活動への支援] ・学内研究発表会(KMS Research Meeting)での同窓会賞

【医学科同窓会会員の皆さまへ】団体勤務医師賠償保険のご案内

高知大学医学部医学科同窓会では、勤務医師賠償責任保険を団体として損保ジャパンと契約しています。現在、約220名の加入者があり、保険料について団体割引15%(令和4年度)の適用を受けております。

●団体割引は、本団体契約の前年のご加入実績により決定しています。次年度以降、割引率が変更となることがありますので、あらかじめご了承ください。

●この案内は勤務医師賠償責任保険の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、下記取扱代理店または引受保険会社営業店までご連絡ください。

<ご参考>

補償内容(保険金額)と保険料

契約型	医療上の事故		保険料
	対人1事故につき	対人1年間につき	
100型	10,000万円	30,000万円	1年間 一括払 43,206円
200型	20,000万円	60,000万円	54,791円
300型	30,000万円	90,000万円	66,300円



【取扱代理店】 はらだ保険企画 〒780-0063 高知市昭和町10番5号

TEL: 088-823-7152 携帯: 090-4780-6362

【引受保険会社】 損害保険ジャパン株式会社 高知支店高知支社

〒780-0870 高知市本町2-1-6

(承認番号: SJ22-03255 2022.11.15)

○勤務先や自宅などが変更となった場合は、同窓会事務局まで本用紙でご連絡をお願いいたします。

送付先：高知大学医学部医学科同窓会事務局 行

FAX：088-866-0065

メール：dosokaij@kochi-u.ac.jp

ご氏名	会員番号	S・H	年卒業
勤務先名			
勤務先住所	〒	TEL	
自宅住所	〒	TEL	
その他連絡先 (実家など)	〒	TEL	
メールアドレス			
【ご意見等】			

○広告協賛金のお願い

広告協賛金の方法につきましては、次のとおりご案内をさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【広告の掲載】 会報「やまもも」

【広告のサイズ】 ①A4 1/8頁 ②A4 1/4頁 ③A4 1/2頁 ④A4 1頁

【申し込み方法】 高知大学医学部医学科同窓会事務局に「メール：dosokaij@kochi-u.ac.jp」でお申し込みください。追って事務局よりご連絡申し上げます。

医師募集(非常勤・常勤)

整形外科外来を勉強したい方
在宅診療をしたい方(R3年看取り19件)
土佐市・高知市周囲で開業を考えられている方
クリニックホームページよりお問い合わせください

ひろせ整形外科リハビリテーションクリニック

高知県土佐市蓮池1004番地1 院長 廣瀬大祐(6期生)